社協だより ふれあい

No.63

2021年
1月15日

〒039-2371
青森県上北郡六戸町大字犬落瀬字柴山3-9
電 話 0176-55-2943
FAX 0176-55-2947
メール rokunohe.shakyo.03@gaea.ocn.ne.jp

体験を通して学びました

これからの自分たちにできること

１１月３０日（月）大曲小学校で、福祉出前講座「車いす体験」を実施しました。体験した５年生から「ちょっとの段差でも車いすでは通ることができなかった」「急に押されると怖かった」など、体験をとおして障がいのある方の気持ちを理解してもらいました。

主な内容

▶町表彰伝達式／県、郡、全国社会福祉大会表彰 ・Ｐ２
▶地域支え合い講座／福祉安心電話ほか ・・・・Ｐ３
▶各事業実施報告 ・・・・・・・・・・・・Ｐ４～Ｐ５
▶生活福祉資金貸付制度 ・・・・・・・・・・・・Ｐ６
▶フードパントリー／雑巾寄贈／寄付報告 ・・・Ｐ７
▶２月の予定／脳トレクイズ ・・・・・・・・Ｐ８

車いすのまま乗れる車両を紹介

社協だよりは皆さんからいただいた社協会費と赤い羽根共同募金の配分金により発行しています。

六戸町社協 検索

ホームページ http://www.rokunohefukusi.jp/

令和2年度表彰伝達式

　１０月７日（水）六戸町老人福祉センターにおいて令和２年度表彰伝達式を開催しました。

　今年度は新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、社会福祉大会は行わず、伝達式を受賞者のみで行いました。

　表彰者は次のとおりです。

【表彰の部】（敬称略）

▶民生委員児童委員　滝　沢　京　子（町民生委員児童委員協議会）
▶福祉施設職員　坂　本　　梢（ひのでこども園）・高　見　幸　子（町社会福祉協議会）
　　豊　川　由美子（町社会福祉協議会）
▶ボランティア活動　吉　田　タエ子（町食生活改善推進員会）

【感謝の部】

▶寄付者　デーリー東北六戸販売所　山　内　一　豊・柴　山　みつ江
▶団体会員　有限会社六戸温泉・有限会社六戸ヘルスセンター

【赤い羽根共同募金】

▶社会福祉法人楽晴会・メープル職員互助会・株式会社江戸屋
　六戸町立六戸小学校・六戸町立七百中学校

第70回上北郡社会福祉大会

　９月１６日（水）においらせ町みなくる館において、第７０回上北郡社会福祉大会が開催され、当町から社会福祉事業に貢献された２団体が表彰されました。

【感謝の部】（敬称略）

▶寄付者　歌謡倶楽舞メイプル　会長　円子正嗣
　　六戸町グラウンド・ゴルフ協会　会長　佐賀　均

佐賀　均会長（左）・円子正嗣会長（右）

第69回青森県社会福祉大会

新型コロナウイルス感染拡大に考慮し中止

　第６９回青森県社会福祉大会では以下の方が受賞されました。

【表彰の部】（敬称略）

▶民生委員児童委員　十文字　利　則（町民生委員児童委員協議会）
▶社会福祉団体等役職員　吉　田　正　一（町手をつなぐ親の会）
▶社会福祉事業協助者　北見歌謡会　代表　北　見　二　郎（寄付）

令和２年度全国社会福祉大会

　３０年にわたり社会福祉法人開成会理事長として十和田つくし保育園の運営に尽力された、六戸町在住の松村英子さんがこの度、全国社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。

【表彰の部】（敬称略）

▶社会福祉法人・福祉施設功労者　松　村　英　子

地域支え合い講座

判断能力が不十分な方への支援 ～成年後見制度～

■**日　時**　令和３年２月１７日（水）
　　１３：３０～１５：３０
■**場　所**　六戸町文化ホール
■**参加費**　無料
■**対象者**　町民で成年後見制度に興味のある方
■**申込み**　六戸町社会福祉協議会
　　２月８日（月）までに申込みください
　　電　話　５５－２９４３
　　ＦＡＸ　５５－２９４７
　　メール　rokunohe.shakyo.03@gaea.ocn.ne.jp
■**その他**　参加の際は必ずマスクを着用ください。

**QRコードからも
お申込みいただけます**

24時間対応　緊急通報装置福祉安心電話

福祉安心電話とは、電話回線を利用し、ボタンを押すだけで２４時間緊急を知らせることのできるシステムです。近隣住民や関係機関が連携し、日常の困りごとや病気・障害などによる不安を解消し、設置者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援していきます。

また、付属として熱を感知し自動で通報してくれる火災報知器も設置されます。

●**設置対象**：ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯等
●**設置費用**：無　料
●**必要な物**：電話回線、固定電話
　　※携帯電話では設置できません
●**協 力 員**：民生委員を含めた近隣住民４人

地域課題解決のお手伝い　地域づくりワークショップ（福祉座談会）

ワークショップとは、参加者が主体となり参加者全員がテーマにそって話し合うことで、地域で抱える課題解決に向けた仕組みを考える手法のひとつです。

地域で抱える悩みを何とかしたいと思っている地域の皆さん、職員を派遣しますので課題解決に向けた話し合いをしてみませんか？

【テーマ例】
・雪かき　・自主防災　・町内会行事　・会費の問題
・高齢者支援　・ゴミ問題　など今、地域で話し合いたいもの

■**申込み・問い合わせ先**　六戸町社会福祉協議会
　　電　話　５５－２９４３
　　メール　jumonji.t@rokunohefukusi.jp

いきいき グラウンド・ゴルフ大会

９月２８日（月）７７名が参加し、舘野公園において、いきいきグラウンド・ゴルフ大会を開催しました。今年は新型コロナウイルス感染症に配慮し、「マスク着用」「大声を出さない」「ハイタッチはしない」を徹底し、プレーを楽しんでもらいました。

参加者の中には「コロナで家にいるのも飽きた」「たまに体を動かさないとなまってしまう」など、コロナ禍での生活の様子を話し、参加できたことがとてもうれしそうでした。

大会の結果は右のとおりです。

大会結果（敬称略）

【一般の部】	１位	赤坂	きみゑ
	２位	高坂	茂
	３位	田子	のり
	４位	出戸	一男
	５位	松村	英子
	６位	松本	セツ子
【協会の部】	１位	堀川	政代
	２位	佐賀	均
	３位	船越	好栄
	４位	小村	光市
	５位	松橋	昭治
	６位	渋谷	進作

防災ボランティア連携研修会

１１月２５日（水）行政をはじめ地域の見守りサポーターや民生委員、町内の福祉施設関係者等３８名が参加し、大規模災害発生時における連携強化に向けた研修会を開催しました。

講師に、ふっこうの虹プロジェクト代表の鳴海孝彦氏を迎え、被災地復興に向けたボランティアの重要性やボランティア受入れを担う拠点「災害ボランティアセンター」の役割と関係機関との関わりについて理解を深めていただきました。

また、展示コーナーでは身近なもので作る災害用グッズとして、飲料水の空き箱を組んだ段ボールベットを置き、広さと強度を確かめてもらいました。

市販の空き段ボールで作った簡易ベット

いきいき創作教室～ミニ門松づくり

１２月２９日（火）ミニ門松づくり教室を開催しました。今年は申込みのあった町民に加え、放課後等デイサービスRootを利用している親子と職員を合わせた１８名が参加してくれました。

講師の手倉森勝廣さんは、「門松は家に神様をお迎えする目印になる縁起のいいものです。完成させて良いお正月を迎えましょう」と挨拶。丁寧に指導していただき、全員立派な門松を完成させました。

参加した子どもたちは、「楽しかった。またやりたい」と出来上がったミニ門松に満足気でした。

生活支援パートナー年末掃除

１２月２４日（木）福祉安心電話設置世帯を対象に、年末の掃除を一緒に手伝ってくれる生活支援パートナーを派遣しました。

依頼者の田中まよさんは「手の届かない押入の棚掃除ができず、ずっと気になっていたけど、生活支援パートナーさんが荷物をおろしてくれ、掃除してもらうことができ、とても助かりました」と話していました。

生活支援パートナーの吉田悦子さんは「年末を気持ち良く迎えてもらえますね」と満足していました。

田中まよさん（右）と一緒に棚の上の整理をする
パートナーの吉田悦子さん（左）

福祉安全電話ネットワークのつどい

１１月２日（月）町老人福祉センターにおいて「福祉安心電話ネットワークのつどい」を開催し、安心電話設置者とその協力員、地区の民生委員合わせて２７名が参加しました。

今回は、県社会福祉協議会職員による、福祉安心電話機能の説明と県内で起きた福祉安心電話を使った対応事例を紹介してもらい、緊急時の体制強化を図りました。

また、本会職員による「災害への備え」をクイズ形式で学んでもらいました。

昼食後に体操で体をほぐす参加者

六戸シニアクラブ雑巾寄贈

１２月１５日（火）六戸シニアクラブの女性部は社会貢献活動の一環として、六戸小学校へ雑巾５５０枚を寄贈しました。

この日は、下田和子女性部長と沖沢和子女性部副部長が同校を訪れ「この雑巾を使って学校をピカピカにして気持ちのよい環境で勉強に取り組んでほしい」とあいさつし、環境奉仕委員会の吉田篤生さんと杉山友香さんへ雑巾を手渡しました。

これを受けた吉田篤生さんは「この雑巾を使って誰もがキレイだと思う学校にしたいです」と感謝の言葉を述べました。

左から下田女性部長、沖沢女性部副部長
杉山友香さん、吉田篤生さん

生活福祉資金貸付制度

生活福祉資金とは、低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯を対象とし、資金の貸付とそれに伴う必要な相談支援を行うことにより、その世帯の自立を図り、安定した生活を継続して営めるように支援する制度です。

青森県社会福祉協議会を実施主体として、県内の市町村社会福祉協議会が相談・申込みを受付しています。

総合支援資金	教育支援資金	福祉資金	不動産担保型生活資金
●**生活支援費** 単　　身　月額15万円以内 ２人以上　月額20万円以内 ●**住宅入居費**　　40万円以内 ●**一時生活再建費**　60万円以内 ・失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯 ・原則として法に基づく自立相談支援事業及び関係機関による支援を継続的に受けることに同意していること	●**教育支援費** 低所得世帯が、高校、大学または高専に修学するのに必要な経費 ・高校 月額3.5万円以内 ・高等専門学校、短期大学 月額6万円以内 ・大学 月額6.5万円以内 ※特に必要と認められる場合に限り上限額の1.5倍 ●**就学支度費** 高校、大学、高専への入学に際し必要な経費	●**福祉費** 生業費・技能習得費・福祉用具等購入費・障害者自動車購入費・負傷又は疾病の療養に必要な経費・介護サービス費等・冠婚葬祭費・住居移転費等・就職等支度費 ・日常生活を送るうえで、一時的に必要と見込まれる費用 ●**緊急小口資金** ・緊急かつ一時的に生計の維持が困難となった場合の少額の費用 貸付限度額　10万円以内	●**不動産担保型生活資金** ●**要保護世帯向け不動産担保型生活資金** ※一定の住居用不動産を所有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する高齢者世帯もしくは要保護の高齢者世帯に対して当該不動産を担保として生活費を貸付ける資金

新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付受付期間延長のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響で、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、特例貸付の受付期間が令和3年3月末まで延長されました。特例貸付の具体的な内容は下記のとおりです。

■休業された方向け（緊急小口資金）

- **対　象　者**　新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等による収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯
- **貸付限度額**　１０万円以内
  （学校等の休業等の特例２０万円以内）
- **利　　子**　無利子
- **据置期間**　１年以内
- **償還期限**　２年以内
- **保　証　人**　不　要

■失業された方向け（総合支援資金）

- **対　象　者**　新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯
- **貸付限度額**　２人以上　月２０万円以内
  単身世帯　月１５万円以内
  ※貸付期間は原則３ヶ月以内
- **利　　子**　無利子
- **据置期間**　１年以内
- **償還期限**　１０年以内
- **保　証　人**　不　要

総合支援資金を既に借入されている方で、貸付期間終了後もなお収入の減少や失業等により生活が困窮している方については、自立相談支援機関での相談や継続的な支援を受けることへの同意により、借入期間をさらに3ヶ月延長の申請が可能となります。※貸付には審査があります。

◆◇◆◇◆　まずはお電話を　◆◇◆◇◆

六戸町社会福祉協議会　☎５５－２９４３

フードパントリーへの寄付のお願い

フードパントリーとは主にひとり親世帯や生活困窮により十分な食事ができない世帯等を対象に、寄付などでいただいた食料を無料で提供する活動です。

六戸町社会福祉協議会では以下の内容により無償で提供くださる方を募集しています。

【受付期間】 令和３年１月～令和３年３月末日まで

【受付食材】
- お米（キロ単位で未開封のもの）　※白米、玄米どちらでも可
- 乾麺（パスタ、そば、うどん、インスタント麺など）
- レトルト食品、インスタント食品、缶詰など
  賞味期限が２ヶ月以上あるもの

【申出・問合せ先】 六戸町社会福祉協議会
電　話　５５－２９４３　／　メール　jumonji.t@rokunohefukusi.jp

【そ の 他】
- 食料の提供は、町老人福祉センターにお持ちいただくか、ご連絡くだされば職員がいただきに参ります。
- 常温保存できないものはお受けできませんので、予めご了承ください。

みなさまの善意に感謝

（令和２年９月１日～令和２年12月３１日まで）

▶デーリー東北六戸販売所　様	２０，０００円
▶匿　　名	１，３８３円
▶小倉よしい　様	８，０００円
▶小山　　陞　様	タオル１２４本
▶六戸町商工会建設工業部会　様	３０，０００円
▶田中　孝雄　様	１０，０００円
▶㈱リペアカーショップ　様	車いす１台

たくさんの真心をお寄せいただき
誠にありがとうございました。

目録を手渡す町商工会建設工業部会の
斗沢定儀副部会長（右）

地域の顔

フリーウォーキング
参加者　坪田國明さん

Q：フリーウォーキングに参加しようと思ったきっかけは？
A：一つは、回覧板に入っていた社協通信の案内で知ったこと。もう一つは、老人福祉センターに来ている知人が熱心に強く勧めてくれたことがきっかけになりました。

Q：活動をとおして、気づいたことはありますか？
A：何の気負いもなく参加できることですね。あとは、ほどほどの疲れ具合も丁度いいですよ。

これからも元気に参加してください

2月の行事予定

ふれあい・いきいきサロン

ふれあいいきいきサロンと元気はつらつ教室は元気アップポイント事業の対象です。

期　日	サロン	場　所	時　間	内　容
2月　5日（金）	川原新田	川原新田構造改善センター	9：30～12：00	中　止
2月　9日（火）	通目木	通目木構造改善センター	9：30～14：00	中　止
2月10日（水）	小平・柳町	小平・柳町公民館	10：00～14：00	中　止
2月17日（水）	高館	高館公民館	10：00～12：00	中　止
2月18日（木）	小松ヶ丘	小松ヶ丘地域交流館	9：30～13：00	団子作り／ゲーム
2月18日（木）	押込	押込公民館	9：30～12：00	健康体操／ゲーム
2月18日（木）	沖山	沖山ふれあい館	9：30～14：00	中　止
2月26日（金）	大曲	大曲公民館	9：30～14：00	中　止

※新型コロナウイルス感染症の状況により中止する場合があります。

心配ごと相談日

■時間
9：00～12：00

■場所
六戸町老人福祉センター

期　日	相談員
2月　2日（火）	人権擁護委員　田澤孝三郎
2月16日（火） 行政合同相談日	民生委員　山本　行雄 行政相談委員　田中　茂樹

※担当相談員は予告なく変更する場合があります。

2月の老人福祉センター入浴日

2日（火）	5日（金）
9日（火）	12日（金）
16日（火）	19日（金）
	26日（金）

■入浴時間
10：00～15：00

元気はつらつ教室（介護予防教室）
毎週金曜日　10：00～10：30
65歳以上の方であればどなたでも参加できます。

※新型コロナウイルス感染症の状況により入浴を休ませていただく場合があります。

脳トレクイズ

最初の文字と最後の文字の間に3つ文字を入れ、自分で「しりとり」を完成させてね。（「が」⇒「か」でもいいよ）

【例】
桃太郎 ➡ 海 ➡ 店 ➡ 背中 ➡ カラス

【問題】
鬼は外 ➡ □ ➡ □ ➡ □ ➡ 福は内

【応募方法】
★ハガキ又は、メールにしりとりの答えを書いて、住所・氏名・年齢・社会福祉協議会へのご意見又はご感想を一言書いてお送りください。ご応募いただいた中から抽選で5名にクオカード500円分を差し上げます。

★応募〆切
令和3年2月12日（金）
※当日消印有効

★宛先　039-2371
六戸町大字犬落瀬字柴山3－9
六戸町社会福祉協議会行き
〈メール〉　rokunohe.shakyo.03@gaea.ocn.ne.jp

専用フォームからも申込できます。